為石小学校区未来サミットラボ



～かたろう・つながろう・ためしてみよう！～

■日時　R8.6.20(土)10時00分～12時30分　■場所　為石地区公民館　■参加者数　35名

現在、為石小学校区では、「為石小学校区まちづくり協議会設立準備委員会」が令和7年9月25日にスタートし、まちの未来を描く「まちづくり計画」をつくることに取り組んでいます。計画に必要なアイデアを集めるため、2回目の「為石小学校区未来サミットラボ」を6月20日（土）に開催しました！

まちづくり計画が完成したら、計画を実現させるため、為石小学校区まちづくり協議会を設立して、「地域のまちづくり」を住民の皆さんと協力して進めることを目指しています。

多くの世代の方にお集まりいただき開催されました、当日の様子をお伝えします！

1　オープニング



はじめに、設立準備委員会　松尾委員長から、「第1回為石小学校区未来サミットラボで出た現状・課題などについて、皆さんで自由に話し合ってほしい。」と挨拶がありました。

2　前回の話し合いで出た意見の確認



前回、令和7年12月13日に開催した第1回「未来サミットラボ」では、「為石小学校区に暮らしていて感じることをみんなで話そう！」というテーマで話し合いました。そこで出た多数の意見を準備委員会で整理して、4つの分野に分けた意見集をみんなで確認しました。

3　興味のある分野の選択

「どんなことができるか分野ごとに考えよう！」
をテーマに、興味のある分野を選んでもらい、グループに分かれて話し合いを行いました。







いろんな世代の、
いろんな意見、たくさん
の笑いがありました。




4　グループでの話し合い

分野	目指す姿(目標)	現状・課題	私たちにできること
つながり	・子育て世代が住みやすいまち ・自然とふれあうまち ・多世代がつながるまち	・為石の存在が他地区に知られていない ・地域と学校が連携して地域行事を知る場を設けている ・地区を超えたつながりや交流がなく一体感がない	・大学生や他地区の人もボランティアとして呼び込む ・自然を活かした交流の活動 ・学校と地域の行事を合体させる ・SNS、広報誌等で情報発信
防犯 防災	・安心、安全な道路の確保 ・街路灯の適正な場所への設置	・集落の孤立⇒崖崩れ等 ・消防団員数の減少 ・幹線道路の日頃の点検不足 ・街灯LEDは照らす範囲が狭い	・危険個所を見回り等で早期発見し、住民にアナウンス後、必要なら行政に要望を出す ・消防団員の勧誘を強化
生活 環境	・バスの自動運転化と道路整備 ・空き家を活用して地位密着の買い物ができる場所 ・広い公園かつ海でも遊べてステージがある複合的な場所	・空き家・空き地問題 ・道路問題 ・バスの本数が少ない ・海岸ゴミ問題 ・ルールがあり海で遊べない	・現地調査のためウォーキングイベントを開催 ・乗合タクシー、スーパーの送迎バスを依頼 ・八郎岳の登山道を整備
福祉 子育て	・子供から大人まで交流できる機会が増える ・遠すぎず近すぎず　知人関係いい関係 ・子供たちが安全安心に遊べる場所をつくる	・一人暮らしの高齢者が多い ・散歩のためのベンチが小さい ・公園がない、小さい ・学童と福祉施設が交流している ・遊ぶ場所が限られている	・高齢の方が交流できる場を作る ・大きな公園や全天候型施設が欲しい ・地域の方と学童クラブ合同で海岸清掃等を行う

5　ふりかえり

最後に、「今日参加してどうだった？」の感想をグループで話しました。

○「今、困っていることを話せてよかった。今日みたいな集まりにどんどん参加していきたい」
○「多くの意見が出て、地域に対する思いの深さを感じた」　等

6　クロージング

芦北副委員長より、「１回目よりも踏み込んだ意見、熱い意見がたくさん出たと思う。10年、20年先、為石小学校区に住んで良かったと思ってもらえるようになれば幸い。」と閉会挨拶がありました。



▶発行元：為石小学校区まちづくり協議会設立準備委員会　▶発行：令和8年8月